

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)

【公開番号】特開 2002-15637 (P2002-15637A)

【公開日】平成 14 年 1 月 18 日 (2002.1.18)

【出願番号】特願 2001-166351 (P2001-166351)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 H 13/14

H 0 1 H 3/12

// H 0 1 H 13/48

【F I】

H 0 1 H 13/14 A

H 0 1 H 3/12 A

H 0 1 H 13/48

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 23 日 (2004.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体 (10) と、前記支持体上で移動し、軸 (A-A) に沿って並進移動するように取り付けられた押しボタン (12) と、前記押しボタンが移動中に最大限度を超えると、前記押しボタンに反力を加えることが可能なバネ部品 (14) とを含むスナップ機能を有する制御装置であって、前記バネ部品 (14) は、その中央部分に少なくとも中央ゾーン (38) が形成され、その両端を支持ゾーン (36) とされた弾性材料からなるシートであり、前記押しボタン (12) と前記支持体 (10) の間に挿入され、前記一对の支持ゾーンと前記中央ゾーンが、一方が前記押しボタン (12) に接触し、他方が前記支持体 (10) に接触することによって、前記押しボタンが移動すると、長手軸 (B-B) に沿って前記シートを曲げる結果になるように意図されており、前記シートは、休止位置において曲がった断面または V 字形状の断面となっていることを特徴とする制御装置。

【請求項 2】

前記バネ部品 (14) の中央部分に、前記押しボタンのステム (26) が通るオリフィス (14a) が含まれていることを特徴とする請求項 1 に記載の制御装置。

【請求項 3】

前記一对の支持ゾーン (36) が、バネ部品の凹面 (14c) に設けられ、前記中央ゾーン (38) が、バネ部品の凸面 (14d) にあることを特徴とする請求項 1 に記載の制御装置。

【請求項 4】

前記バネ部品に、丸み付き部分によって互いに接続された 2 つの平面壁が含まれることを特徴とする請求項 4 に記載の制御装置。

【請求項 5】

ケース (10) 及び先行請求項の任意の 1 つによる制御装置を含む腕時計であって、前記ケース (10) によって、前記制御装置の支持体が形成され、前記押しボタン (12) に、ケースの外側に配置されたヘッド (28) と、前記ケースの穴 (22) 内をスライドするように係合し、ケースの内側に延びているステム (26) が

含まれることと、
前記バネ部品（１４）が、前記ケース（１０）の外側面の凹所（２４）に配置されて、前記押しボタン（１２）のヘッド（２８）と協働することを特徴とする腕時計。